

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

彩の国東大宮メディカルセンターでは、当院の倫理・臨床研究治験委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意志であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

研究課題名 (研究番号)	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したグローバルデータベースの作成 (No.42)
研究責任者 (所属)	岡田恒作 (整形外科)
研究実施期間	2022/4/8~2026/3/31
研究等の概要	<p>大腿骨近位部骨折は脆弱性骨折の終着駅とも言われ、高齢化の進行する世界的な規模での対策が求められている。Fragility fracture network(FFN)では活動の1つとして大腿骨近位部骨折治療のガイドラインと Audit に基づいたデータベースを作製し、大腿骨近位部骨折治療の改善、進歩への改革を実施している。その結果、英国など複数の国では大腿骨近位部骨折発生率の低下や医療費の削減効果も報告されるに至っている。</p> <p>FFN-Japan では国際比較を念頭に置いて、FFN 共通の Minimum Common Dataset を用いたデータベースを作製して、病院間、地域性、さらに国際的な比較を行い、我が国の治療の特色や課題について検討する。</p> <p>その結果に基づいてガイドラインを反映させた Audit system を提案する。</p> <p>継時的なプロジェクトとして日本における大腿骨近位部骨折の適正治療、二次骨折予防の徹底を実現し、海外での実施モデルを参考にして国家的に診療報酬に反映されることで脆弱性骨折の減少を目指す。</p> <p>当院で治療を行った大腿骨近位部骨折の全症例をデータベースに反映する。</p>

個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
問い合わせ窓口	臨床研究事務局 電話：048-665-6111